

令和 4 年度 福島大学基金研究推進事業助成による成果報告書

2023 年 6 月 1 日

学 長 殿

所属部局・職名 福島大学大学院共生システム理工学研究科

申請者名 鈴木 陽

助成の区分 (該当するものに○)	学会参加助成・学術出版助成・学術論文掲載料等助成
事業名	2022 年日本経営工学会春季大会 研究発表
成果の概要	<p>2022 年日本経営工学会春季大会において、「企業と社会の持続可能な発展に向けた CSV の実施プロセスの構築と考察」(共著者:石岡賢)という研究の発表を行った。</p> <p>大会は、2022 年 5 月 21, 22 日に神奈川大学みなとみらいキャンパスにて開催された。しかし、感染症対策として、オンライン参加も認められていたため、オンラインでの学会参加・研究発表となった。</p> <p>発表した研究では、「企業の CSV 実施を促進すること」を目的とした。</p> <p>具体的な研究の流れとしては、知識創造理論と経験学習の理論に着目し、CSV の観点から、近年行われている研究における組織での知識創造方法を概観し、知識創造理論における SECI モデルと経験学習の理論の経験学習モデルに焦点を当てた効果的な CSV の実施プロセスを実際に企業が適用し易いモデルとして構築し、考察を行う、というものである。</p> <p>発表後には司会の方から頂いた、研究で提案した「内省重点型知識変換 (SECI) モデル」の有効性についての質問に対し、企業事例を用いながら回答を行った。</p> <p>全体を通して、自分の研究成果を他の大学の教授や学生の前で発表するという良い経験が出来ただけでなく、学びや刺激を得ることが出来るとても有意義な学会参加となった。</p>